

一般社団法人名古屋工業会会誌



2015 11-12 月号

[交流コーナー]

国際標準化活動 下手の横好き

[学生コーナー]

鳥人間コンテスト初フライト 研究室の旅 壬生研究室(電気電子工学科)

[新聞記事コーナー]

中日新聞、中部経済新聞

[ホットライン]

平成27年度工大祭支援金を授与

[情報ネットワーク]

支部報告・会員ニュース



発行 一般社団法人名古屋工業会 (名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0062名古屋市昭和区狭間町4

TEL • 052-731-0780

FAX • 052-732-5298

E-MAIL•gokiso@lime.ocn.ne.jp http://www.nagoya-kogyokai.jp/



平成28年 名古屋工業会東海地区新年互礼会

恒例となりました東海地区新年互礼会を、名古屋支部主催、三河、尾張、岐阜支部の共催で下記の通り開催いたします。ご多忙中誠に恐れ入りますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

日 時:平成28年1月9日(土) 12:00~14:00

場 所:名古屋工業大学大学会館

会 費:5,000円

申込先:下記の単科会連絡幹事までご連絡いただくか、直接支部連絡先へ。

締切は12月11日(金)

支部連絡先:栗田 典明(名古屋工業大学環境材料工学科内 名古屋工業会名古屋支部庶務)

Email: kurita@imono.mse.nitech.ac.jp TEL: 052-735-5297 / FAX: 052-735-5571

各単科会連絡幹事等

CE会	和田 亮一(C62)	TEL 052-954-6538	名窯会	多賀	茂(Y62)TEL 090-6801-3353
光鯱会	字佐美智伯(A⑥)	TEL 052-704-6137	名晶会	栗田	典明(K60)TEL 052-735-5297
巴 会	杉山 耕一 (M⑥)	TEL 052-872-9251	計測会	大鑄	史男(F49)TEL 052-735-5393
電影会	三宅 正人(E60)	TEL 090-3581-4472	経友会	仁科	健(B 50)TEL 052-735-5396
双友会	泉地 正章 (W44)	TEL 052-837-7271	情友会	松尾	啓志(J 58)TEL 052-735-5446
緑 今	大橋 聖一 (D45)	TEL 0533-87-3741			

各単科会幹事様はメールにて参加者情報をご連絡いただけますと幸いです。

『ごきそ』電子化のお知らせ!

名古屋工業会では、会員の皆様から『ごきそ』の保管方法、現状のスマートホーンの普及もあり、外出時でのスマホ・タブレット等での閲覧などの便宜を図るようとの要望を受け、『ごきそ』の電子化を進める準備を行っています。

現在、新年度からの電子化を目指し、ホームページにおいて過去の『ごきそ』の閲覧が可能なようにしていますが、より見やすく、便利な形として電子化を始めたいと考えております。

これにより、省資源、長期的な財務基盤の整備にも充当することが可能となります。

会員の皆様からのご意見・ご要望等を参考に改善を行いながらより見やすい『ごきそ』電子版を制作したいと考えていますので、皆様の要望・ご意見等をお寄せ願います。

今後、電子版への移行については、従来の紙による『ごきそ』送付から、電子版への移行の希望を個々にお聞きし対応したいと考えております。

順次、お知らせをさせて頂きますのでご確認願います。

なお、ホームページの閲覧は、パソコン等の検索機能により名古屋工業会を検索願います。

【ご**意見・ご要望の宛先**】 ファックス:(052) 732-5298 電子メール:gokiso@lime.ocn.ne.jp

表紙写真説明

「秋の上高地」

撮影者 名古屋工業会事務局





国際標準化活動

東芝シュネデール・インバータ 横井 修(E57)

筆者がIEC(国際電気標準会議: International Electrotechnical Commission)における国際標準化活動の仕事に携わるようになったのは、2011年5月です。既に4年が経過し、この活動を通じて、感じたこと、学んだことを紹介します。

IECの標準化活動

IECには、97のTC(Technical Committee) と呼ばれる技術専門委員会があり、TCによっては、その傘下にSC(Sub Committee)と呼ばれる分科委員会が設けられ、現在74のSCが活動しています。これらの委員会は、関係する技術分野における標準化活動を行っています。筆者は、現在

TC22 (パワーエレクトロニクス機器) パワエレ機器の安全規格改正グループ TC22傘下のSC22G (可変速駆動システム)

可変速駆動システムの安全規格改正グループ の2グループにエキスパート委員として、可変 速駆動システムの効率規格策定グループに幹事 として日本側を代表して活動しています。

上記のような作業グループは、最低5ヶ国以上の国よりエキスパートと呼ばれる代表者が参加し、年2~3回国際会議を開催して、規格策定、改正作業を行います。会場は、欧州参加国が多数を占めることから、欧州→北米→欧州→アジアの順で行われることが多いです。参加者は、グループによりますが、10~20名ほどが集まり、3~5日間審議を行います。国際会議で、十分審議できない場合には、次回会議までの間に2時間程度のWeb会議を複数回開催し

て、審議を行うこともあります。時差の関係もあり、こちらも3地域が同時で参加できる時間帯は限られます。こちらについても公平に深夜、早朝、昼となるよう順番に回して行くことが多いです。



写真1. 会議風景

活動での体験

エキスパートは、技術的経験・知識が豊富な 電機メーカ、試験機関、大学の技術者、研究 者であり、中には様々な規格にも精通した方も 見えます。このため、会議では、関連規格の番 号を引合いに審議がなされることが多くありま す。筆者が初めて会議に参加した時は、その関 連規格を知らないため、その内容を調べている だけで、審議を終えてしまい、また新たな番号 を聞けばそれを調べるといった感じで、審議内 容に踏み込めない場面がありました。会議後、 参加エキスパートに話をすると、「最初はそん なものだ。」と言われ、少し安心した気になっ たことを覚えています。それを過ぎると、次の 関門は、個々の規格で述べられている要求事項 の内容ではなく、その裏の成り立ち、背景、思 想を知る必要があります。これについては、い

ろいろな人から情報を得ながら、知識を蓄えて 行く必要があります。中には、参加国が有利に なるような政治的な臭いがしそうなものもあり ます。

筆者が参加している"可変速駆動システムの 効率規格"は、欧州規格(EN規格)が既に出 来上がっており、日本は遅れています。国際規 格も先行する欧州規格をベースに作られて行く ことになることが予想されます。このため、中 立的な立場で意見を出せる、欧州以外の国から 委員長および幹事を出すことで、公平性を保と うとし、筆者が幹事として選出された訳です。 ちなみに委員長は米国の方です。委員長と話を していくと、20年以上前に、弊社(当時東芝) が彼の会社にOEM供給していた時の製品担当 者であることを知りました。その製品の開発を 担当していたのは筆者で、そのことを伝えた時 点で、完全に意気投合。お互いSam(筆者)、 Timと呼び合い、日米連合で、欧州勢に向かっ て行けることをお互い確信しています。正に"世 界は狭い"を実感した時でした。

会議では、技術論争をすることがあります。 参加エキスパートはそれなりの経験を持っているので、議論が白熱することがあります。そんな時、委員長が妥協案を提示したり、お互いに宿題を託したりと調整をとっていきます。時には、多数決で方針を決めることがあります。

会議では、約2時間に1回15分程度のコーヒーブレーク(いわゆる休憩時間)が設けられます。この時には、世間話をする人、メールチェックする人など様々ですが、決を採る時の前の休憩では、ロビー活動をする人も出てきます。

技術論争で最後に物を言うのは、実験データです。筆者が幹事を務める"可変速駆動システムの効率規格"では、日本で一般的な測定方法

が、規格に記載されない可能性がありました。 最初の会議で、反論しましたが、誤差が大きい と言われ、データが無かったので、言い返せま せんでした。欧米の測定方法に従うと、測定器 を新たに追加購入するか、欧米の測定器メーカ の計測器に買い替えて使用する必要が生じてし まいます。このため、日本電機工業会(JEMA) および日本電気計測器工業会(JEMIMA)に 加入しているメーカ合同で、オールジャパンと して、効率測定を行ってデータを揃えました。 そのデータをまとめて、日本の一般的な測定法 が、欧米で一般的な測定法と遜色ないことを次 の会議で示しました。その結果、欧米の委員も 日本の方法を認めてくれ、不利にならないよう にすることができました。



写真2. JEMA、JEMIMA共同 可変速駆動システムの効率測定風景

会議後の活動

会議後の夕食は、皆ですることが多いです。 参加委員は、真面目な方が多いですが、この時 は、会議を忘れてもっぱら世間話です。スポー ツ、料理、最近話題となったニュースなどで話 が盛り上がります。

こういった場で、参加メンバーと親しくなって行くと、会議での話し合いもスムーズにできることがあります。

会議に参加して、知り合った委員達から感じ た各国の印象は、こんな感じです。



写真3. 夕食(左より、ドイツ、フィンランド、筆者、 デンマーク、カナダ、米国からの参加者)

アメリカ人:よくしゃべります。話好きで、口が休まることがありません。

カナダ人:お隣のアメリカと比較するとおとなしいです。(北に位置し、気温が低い。アメリカに比べ人口密度が低いからでしょうか?)

フランス人: 話好きです。時間にルーズと言われていますが、筆者と付き合いのある委員はそんなことはありません。(国際会議なので、合わせているのかも知れません。)

ドイツ人:イメージ通りで、おとなしく、時間・約束を守ります。

デンマーク人:ドイツ人に似たところがあります。ドイツ人に比べ、気配りします。

フィンランド人: おとなしいですが、好意的 な話をします。

スイス人: 頑固で、自分の主張を通そうとしますが、周りに気を配ってくれます。

オーストラリア人:大雑把のイメージがあり ますが、細かいことに自分が納得するまでこだ わります。

人それぞれなので、一般に言われているイメージに合っていない部分もありますが、ところどころ、お国柄が見えて、面白いです。

おわりに

最近ISO、IECといった国際標準化の重要性が、認識されるようになってきました。グローバル化と言われる中で、日本がものづくり

にだけ徹していても国際標準抜きでは、市場競争で優位に立ち、市場を獲得することは困難になりつつあります。このためにも、国際会議の場で日本が不利にならないよう、意見を述べて行くことは、非常に重要となって来ています。また、国際会議に参加することで、各国の方と知り合いになる機会も生まれます。本稿が国際標準化活動に興味を持たれ、参加のきっかけになれば幸いです。



略歴

1984年3月 名古屋工業大学大学院電気工学専攻修了

1984年4月 株式会社 東芝 入社

1996年2月 東芝インターナショナル米国社

(ヒューストン) へ出向

2000年5月 帰国

東芝産業機器製造株式会社勤務

2001年4月 東芝シュネデール・インバータ株

式会社勤務

現在に至る







下手の横好き

トヨタT&S建設株式会社 代表取締役社長 小山 裕康(A54、院A56)

皆さん其々色々な趣味をお持ちのことと思いますが、私は人から「趣味は?」と聞かれると「油絵」と答えています。大概の人から「いい趣味ですね」とか「高尚ですね」と褒めて頂き、その場に私の描いた絵がないため、実際より高いレベルのことを想像してもらっています。それだけで私の評価を少し高めてもらえるので得をしています。本当は表題のように「下手の横好き」なのですが。

なぜ趣味が油絵かというと、元来絵を描くことが好きだったものの、誰かに習ったことも油絵を描いたこともなく、定年になったら始めてみようかと漠然と考えていました。ところが、今から16年前(43才の頃)の同級会で、現在名古屋市に勤務している二村君から「今、油絵を習っている。年取ってから始めてはうまくならない、君も一緒にやらないか?」と勧められ、一人ではなく友人と一緒ならと思い、一念発起して始めることにしました。先生は長久手在住の画家赤塚一三さん。年令も同じで気さくなため、非常にスムーズに教室に入ることができました。教え方も描き方の技術を押し付けるわけではなく、その人の個性を尊重しながらアドバ



~「赤い布と静物」(2012年)~

イスをしてくれます。そのため描くことがとても楽しく、ストレスも解消でき、思い切って一歩足を踏み出して良かったと大満足でした。

その後、きっかけづくりをしてくれた二村君 は仕事が忙しくなり休眠状態に。私も平均すれ ば月に一度行けるかどうかの状態で、年に2~ 3作品を完成させるペースです。それでも描い ている時間は絵に没頭でき、教室に来ている皆 さんとも仲良くなり、とても大切な時間となっ ています。そして、絵が完成すれば一端の画家 気取りになり、一人で悦に入っています。仕事 以外に集中できることを探すのは、多忙な時に はハードル高いことですが、あまり年を取らな いうちに少しずつ始めるのはスキルを伸ばして いくためには大変重要なことだと思います。私 の場合は「下手の横好き」で、思うようには全 く描けませんが、それでも始めた頃に比べると 少しは上達しています。もし今から始めるとす るとさらにハードルが高くなって、なかなか重 い腰が上がらないかもしれませんし、且つ上達 することも難しいのではないかと思います。



~「プティット・フランスの橋」(2013年)~

そんな調子で自己満足的な絵を描いていたと ころに転機が訪れました。同じ教室の二人の方 から3人でグループ展をしませんかと問いかけがあり、あまり何も考えもせず「いいですよ」と答えてしまいました。それからが大変で約1年かけて8点の絵を展示するために四苦八苦でした。元々年に2~3点しか描いていないため、未発表の作品と合わせて何とか間に合わすことができました。しかし、これまでは一人よがりのレベルであったのが、人様に見てもらいればという気持ちになりました。それからは絵町りになり、改めて鑑賞に堪えうる絵にしながら、はという気持ちになりました。それからは絵町展や他人の絵を観たりする時には、構図はどうか、色彩のバランスはどうか等を気にしながら、自分自身の描き方の参考にするようになりました。



~ 「3人展」の様子(2013年)長久手市 文化の家にて~

絵の教室で皆さんと話すことの一つを紹介します。小学生くらいの頃は、歌うのが好きとか、 絵を描くことが好きとか、機械いじりが好きとか、あるいはサッカーが好きとか、好きなものに時を忘れて集中したりして、それが楽しかったのですが、高学年になるに従って、所謂受験科目にないものは忘れ去られ、学校でも教えなくなります。折角あるものに才能があっても数ななります。明在の教育制度には偏りがあり、同質人間を生み出すことになってはしないかと危機感を感じています。もっと本来備えている才 能を伸ばすことのできる環境づくりに力を入れるべきではないでしょうか。若いうちに様々な経験をさせ、自分の好きなことは何か、何が得意なのか、そしてそれを見つけ出し、その上で自分の進むべき道を究めていく、それから勉強しても決して遅くはないでしょう。そうすれば若くして鬱に悩む人たちも減少し、さらには創造性豊かな人たちも増えて、将来も明るくなるのではないか。そんなことを話したりしています。

もう一つ油絵の教室に通っていて良いのは、 様々な方々と交流の出来ることです。人生の先 輩達は勿論、美術大学を受験する高校学生や中 学生もいます。通常の会社や学校に馴染めず絵 を通して自分の存在を求めている人もいます。 それに画家の方たちとも知り合いになれます。 まさに異業種交流です。絵の話を中心に芸術全 般や人生についてなど面白い話が飛び交いま す。仕事の関係では得られない貴重な文化交流 になっており、自分自身の幅を広げるいい機会 となっています。実は、私にはもう一つ30年以 上続けている趣味があります。それはサッカー です。こちらも油絵と同じ様に仕事以外に熱中 できる私の大きな宝となっています。こちらも 「生涯現役」を目指して頑張っています。ただ 両方なかなか時間が取れないのが悩みです。

会社生活をしているといつも時間に追われ、 休みになるとその反動でダラダラとしてしまい がちです。特に私のようなアラカンと言われる 年令になると仕事以外に熱中できるものを持っ ていないと、定年後に気の抜けた粗大ごみにな りかねません。皆さんも思い切って、昔から やってみたかったことを今から始めてみません か?きっと充実した時間と、新たな世界に目覚 めるのではないかと思います。そう言う私も十 分に絵を描く時間もなく、偉そうなことを言え ませんが、いつか「下手の横好き」から「好き こそものの上手なれ」と言われるようになれば と、これからもずっと続けていこうと思ってい ます。





鳥人間コンテスト初フライト

─飛行距離755m、6位の健闘−

記:中村 祐貴(建築・デザイン工学科1年)

2015年7月26日、本学のNIEWsが第38回 鳥人間コンテストにて初フライトした。昨年は 悪天候のため棄権したが、二回目となる今回に して755.78mと好記録を達成し、12チーム中6 位に輝いた。機体を作成するリーダーと、この 記録を産み出す文字通りの『エンジン』となっ た操縦者にインタビューを行った。

◆人力飛行機をやってみて大変だったことはなんですか。

そうですね、製作の面でいうならミスの修正ですね。今回は製作期間が終わったときに左の主翼の端が上にそってしまっていることが発覚しまして、それを残された時間や必要な材料を考えてどのようにしたら一番効率的に修正することができるかを考えるのが大変でした。

◆鳥人間コンテストを見ていると様々な形の飛 行機を見るのですが、名工大の飛行機に込め られたこだわりは?

まずコンセプトは作りやすい機体で、性能の面で言うなら琵琶湖の風に対応できるように考えて作ったことです。琵琶湖では意外と強く風が吹いて風向きも変わりやすいので飛行速度を他のチームより1mほど速くすることで風の影響を減らすようにしました。言うなれば琵琶湖専用の飛行機です。またデザインはとにかくかっこよくを、そして色はパイロットのラッキーカラーで赤にしました。

◆このチームの構成を教えてください。

班が全部で8つありまして、主翼班、フレーム班、設計班、尾翼班、速度計などを作る電装班、パイロットの足の動きを伝達する部品を作る駆動班、飛行機を覆っている部品を作るフェアリング班があります。



チームリーダー:村川佳樹

みんな大体主翼班に入っていて他の班を兼任 しています。

◆実際に琵琶湖で飛んでみてどうでしたか。

思ったより緊張はしなかったです。でも飛び立ってすぐに落ちてしまった飛行機を見たことがあってそれにはなりたくないと思ってたので、飛び立つ前はすぐに落ちないかどうか不安でしたね。上手く飛べて安定して飛んでるときは普通に高いところからの琵琶湖を見て綺麗だなあと思いました。

◆パイロットをやってみて難しかったことはありますか。

舵の操作が難しかったです。飛行機の高度が下がったときに舵であげるんですが、その舵はとりすぎると失速してしまってとらなすぎるとそのまま落ちていってしまうんですよ。なので、微妙な調整が要求されるもので大変でした。あと難しかったというよりはつらかったこととしてトレーニングがあります。1日30分以上270Wのローラー台をこぎ続けるという、ママチャリに換算するとギア3でロードバイクについていくような感じのものをやっていました。ほとんど初心者だったということもあってつらかったです。

◆パイロットも製作をしていますか。

はい、作業をしています。作業をしつつ先 ほど言いました270Wのローラー台を使ってま す。

- ▼気になったので聞いてみた!
- ◆1年のなかでどのくらいの期間製作をしていますか?

製作は11月から5月にかけてやっています。 それまでは反省点などを踏まえた上次回でどのような飛行機をつくるか話し合います。5月から6 月は本番に向けて試験飛行を行っています。



パイロット:箕浦一晃

◆試験飛行はどこで行っているんですか?

岐阜県高山市の飛騨エアパークという飛行場を借りて年5回飛んでいます。ちなみにリーダーの上記のインタビューで出てきた製作ミスは試験飛行の一回目に発覚しました。

◆飛行機はどうやって運んでいるんですか? パーツごとに分解してトラックに積んで運ん でいます。で現地で組み立てます。

◆飛行機は手作りなんですか?

はい、手作りが多いです。まず設計図をパソコンで書いて羽などはそれに合わせてカッターなどで部品を切り出したり、ペダルの部分は自転車の部品をいったん分解して飛行機に合わせて組み立てていきます。硬いカーボンの切り出しや複雑なギアなどは社会人になったOBさんに協力してもらってますが、飛行機の芯になる

カーボンフレーム (パイプ状のカーボン) は カーボンシートを型の鉄芯に張り合わせて130 度に熱して一つ一つ製作しています。

◆鳥人間コンテストを見ていると二人で飛んで るチームがあったのですが、飛行機はその辺 は自由なんですか?

はい、別に二人でも大丈夫です。二人は馬力が上がりますがその分重くもなってるので結局一人と変わりありません。ただあのチームは二人で飛ぶのが伝統のようなものになってるのでやっているのだと思います。また大会でちょっと変わった飛行機を見ることがあると思いますが、あれらは変態機というタイプで通常2つのプロペラを1つにしたり異の数を減らしてしまったりして少し面白味を出しています。

▼人力飛行機研究部は今年結成三年目を迎えての初出場(前回は悪天候のため大会中止。)にて755mで12チーム中6位の実績を叩き出しました。来年の目標は1kmを越えられるようにして、10kmまで飛べるような飛行機をつくることです。大会は鳥人間コンテストに絞っていくとのことなので、彼らの熱い思いが一点に集中することだと思います。彼らの今後の活躍に期待していきたいです。



研究室の旅 壬生研究室(電気電子工学科)

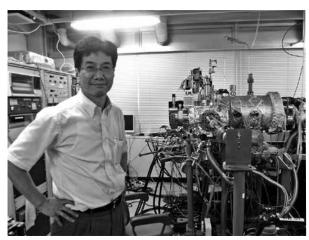
今回研究室の旅で訪れたのは『磁性薄膜』の『ナノ構造体』について研究している壬生攻(電気電子工)教授の研究室だ。「自分達のところにない装置はどんどん外に行って借りましょう」と壬生教授は語る。この言葉の横で、研究に使用する錆びた鉄を乳鉢ですりつぶす学生の姿が印象的であった。

磁性薄膜のナノ構造体は、コンピュータなどでデータを記録するという重要な部分で利用される。データーつひとつをそれぞれ小さな磁性ナノ構造体に記録することができれば大容量での記録ができるのだが、ナノレベルの加工には、研究室のHPのトップページを飾る超高真空蒸着装置や、パルスレーザー堆積装置などの研究設備でつくった厚さ数ナノメートルの薄膜を、電子ビームや薬品を利用して加工するという多くの工程を経ている。このとき、名工大の設備では不十分な場合には京都大学や豊田工業大学など、他大学の研究設備を借りて加工を行っている。

壬生研では学生への方針として、他大学やそこの研究者との交流を重視している。この方針について壬生教授は、「名工大の外の、日本最先端の設備の使用やその場所の研究者と交流ができることは、就職したうえでも有用だろう。会社で新しいプロジェクトを発足するうえで最初から設備が充実していることはほとんどない。ライバル会社の動向を探る、大学に話を聞きに行く、派遣されて技術を学ぶなどの交流は、社会でも必要なことだ」と語る。

壬生研究室で今実施されている研究の一つとして、内閣府の一大プロジェクトへの参加がある。現在、多くのエネルギーを使った電流でデータの書き込みをしているメモリを、電圧だけでデータを書き換えられるようにするこのプ

記:米谷 亮祐(都市社会工学科2年)



超高真空蒸着装置の紹介をする壬生教授

ロジェクトが成功すれば、エネルギーをほとん ど使わずデータの記録、保存ができるようにな るという。

データ記録の縁の下の力持ち、磁性薄膜に興味のある方は壬生研究室のHPや内閣府の「無充電で長時間使用できる究極のエコIT機器の実現」について調べることで新しい発見があるだろう。



ナノ磁性体はハードディスクなどで用いられる



中日新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)						
2015/8/15	朝 豊田版	16	名古屋工業大学	_	ロボカップ世界一輝く 災害救助の仕組み 伊藤・愛工大教授らのチーム						
2015/8/15	朝	16	名古屋工業大学	_	在宅医療促進へ連携 名工大とNTT西日本 協定						
2015/8/20	東三河版	16	名古屋工業大学	_	艇庫移転 6大学と合意 ラグーナ拡張 蒲郡市、「5000万円」補償						
2015/8/21	朝	22	名古屋工業大学	_	「裏込め材」に瓦破砕物 県陶器瓦組合 崩落防止へ実験開始						
2015/8/24	朝	13	名古屋工業大学	_	エコロボ 堀川きれいに 堀川エコロボットコンテスト						
2015/8/24	朝 三重版	12	竹上真人	卒業生(C61)	松阪市長選 竹上元県議が出馬						
2015/8/25	朝	16	大平瑞樹	在学生	どまつりの安全を祈願 久屋大通公園						
2015/8/28	朝 松阪紀勢版	20	竹上真人	卒業生(C61)	松阪市長選 竹上氏と森本氏 正式に出馬表明						
2015/8/29	こどもウィーケリー	2	平田晃正	情報工学専攻	空気震わせ落ちる電気						
2015/8/31	朝	12	河野真理亜	在学生	国体東海ブロッククレー射撃						
2015/9/1	朝	20	太平瑞樹	在学生	学生150人が清掃 栄会場どまつり一夜明け						
2015/9/1	朝	19	麓和善	建築・デザイン工学科	伝統構法の技術継承 岐阜・旧加子母村「明治座」120年経て改修						
2015/9/4	朝 西三河版	20	桜井貴祥	在学生	「リバーフロント」こんな姿に 岡崎市役所 学生の再開発案紹介 投票も						
2015/9/4	朝 東三河版	20	名古屋工業大学	_	2億円補償 予算案可決 蒲郡市議会 艇庫移設 手法には批判						
2015/9/6	スポーツ	25	名古屋工業大学	_	モーターエクスプレス 全日本学生フォーミュラ						
2015/9/9	タ	23	名古屋工業大学	_	2016年国公立大学入試要項 中部						
2015/9/22	朝	28	名古屋工業大学	_	ウィンクあいち 7・8階展示場						
2015/9/25	朝	21	名古屋工業大学	_	あすから名古屋で「中部の大学展」						
2015/9/29	朝	28	名古屋工業大学	_	NTT西日本 名古屋支店長 理念あるものづくり ICT活用で新たなビジネスに						
2015/10/3	朝	22	名古屋工業大学	_	産学官連携、青色LED材料活用へ 名大など共同研究体設立						
2015/10/5	WEB		竹上真人	卒業生(C61)	新人の竹上氏が三つどもえ制す 松阪市長選						
2015/10/9	朝	18	麓和善	建築・デザイン工学科	どうする名古屋城 期限設けずに議論を						
2015/10/14	朝	8	登坂正一	卒業生(Y54)	新社長:太陽誘電 登坂正一氏						
2015/10/15	朝	35	河邉信二	建築・デザイン工学科	ビルの形 ○から□に 電波障害対策 地デジでクリア						
2015/10/15	朝	7	佐野明人	機械工学科	NEW商品 自力歩行支援機						
2015/10/16	朝	8	守富 寛	卒業生(Y52)	炭素繊維をリサイクル 来春 御嵩に国内最大工場						

中部経済新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)					
2015/8/18	朝	3	富田悟江	産業戦略専攻	「研究現場発」睡眠は健康の礎 産業戦略専攻准教授冨田悟江					
2015/9/15	朝	3	福田功一郎	環境材料工学科	「研究現場発」燃料電池を低温で動かす 一600℃で高いイオン伝導性の「結晶配向電解質」を開発					

情報 ネットワーク

平成27年度尾張支部総会報告

平成27年4月18日(土)尾張支部平成27年度の総会を名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)小ホールで開催しました。 本部理事長の水嶋敏夫様、名古屋工業大学学長の鵜飼裕之様のご来賓を頂きました。参加者は来賓者を含め48名でした。更に特別講演とミニコンサートへは家族・知人・一般の方々14名にも参加していただきました。

第1部の支部総会は音無支部長挨拶。次いで 水嶋理事長及び鵜飼学長よりご挨拶を頂きました。

続いて、音無支部長より平成26年度事業報告、 大竹会計幹事より同会計報告、山内監事より同 会計監査報告、支部長より平成27年度事業計画 (案)を説明し承認。平成26年度新設役員の伊藤・ 稲波両副支部長、新任の大竹会計担当幹事、山 内監事の4名を紹介し、承認されました。

第2部は特別講演。名古屋工業大学大学院創成シミュレーション工学専攻教授・水野直樹教授(F53)より『NHK大学ロボコン初優勝!頂点への道と連覇に向けて』と題してお話していただきました。優れたチーム力と技術、更に優勝に伴う名工大のPR効果、海外大会経験等の分かり易い説明に感銘した。

第3部はミニコンサート。ソプラノ・児玉弘



美さん、バリトン・能勢健司さん、ピアノ・秀 平雄二さんでドニゼッティ作曲のオペラ『ドン・ パスクアーレ』を中心に堪能。

第4部は記念撮影。ミニコンサート出演者に も入って頂いてのスナップです。

第5部は懇親会。玉田前支部長の乾杯の音頭をお願いし、ミニコンサート出演者も加わり、立食パーティーで歓談。今回は鵜飼学長及び水野先生の同期生合計5名参加されたため大変なごやかな雰囲気に包まれました。

最後に全員で「東海の邦のほまれに」を斎唱 し、中締めを伊藤美保副支部長(D44)の発声で 万歳を三唱して散会しました。

記:音無 通男(W41)



平成27年度 一般社団法人名古屋工業会静岡支部定期総会ほか報告

静岡支部総会は、9月5日(土)(14時から18時30分)、残暑厳しい折、静岡市内のクーポール会館において開催されました。

来賓として一般社団法人名古屋工業会から水 嶋敏夫理事長(M42)、国立大学法人名古屋工業 大学から鵜飼裕之学長(F52)にお越しいただき ました。鵜飼学長は昨年に引き続き、水嶋理事 長は就任以来、初めての出席となりました。



鵜飼学長からは、大学のグローバル化への期待について社会、産業界の要請を受け学内にて具体化を図っていること。一方で、産学連携研究での実績を積極的に推進し産業

界への貢献をさらに進めること。来年度からスタートする創造工学教育課程は大学院への進学を前提にした6年一貫型の教育課程を創設することなど説明されました。さいごに、私たちも思い出のある今までの講堂は改築されることも紹介されました。



水嶋理事長からは、工業会の役割としての「大学支援」と「会員相互親睦」について話をいただきました。ご存知の方も多いかと思いますが、ロボットコンクールで日本一となり

世界大会で2位に入賞しました。今年は、琵琶湖にて鳥人間コンテストにも挑戦したのを受け、滋賀県の長浜で全国支部長会議を開催、翌日にその応援にも出かけ課外活動の実態を垣間見ることができました。来年は、ソーラーカーレースにも参加する予定もあり工業会としては支援をしていきたい。会誌「ごきそ」についても、今後は、工業会のホームページの活用を考えており会員専用のホームページで見られるようになること。支部との連絡もホームページを利用することで省力化とコストダウンを計れること。来年度からは、現役大学生の90%以上は

入学時から工業会の会員になり年齢が幅広く増えると同時に非会員の方も改めて入会により大学支援と会員相互の連携を積極的に進めたいことを話されました。



講演会には、同大学大学院 工学研究科の秀島栄三教授 をお呼びしました。秀島教授 は、焼津市の「公共施設など 総合管理計画」に産学官連携で 参画されています。民間のコ

ンサルタンツの営業展開を受け、教授が全国の中でも統合型公共施設データベース構築に詳しい実績があることも共同研究に係る理由の一つでした。静岡支部では、県内に建設系の卒業生も多いこともあり興味のあるテーマと考えました。焼津市はデータベース情報を活用して将来のまちづくり、国土強靭化、公共施設などの事業管理や適正な予算計画に及び活用することを全国の自治体の先駆けとして期待しています。

懇親会は、会場を替え、約2時間和やかな中で行われました。山岡司会進行役から全員を対象に近況を話す機会をいただき若い順にそれぞれの持ち味で話題が提供されました。今回で11回目を数えますが、静岡支部として各学科卒業生の横断的な交流の場を今後とも継続していくことも確認しました。

記:静岡支部長 山之上 誠(C49)



平成27年度 大阪支部総会報告

平成27年度大阪支部総会は、9月26日(土)大阪を代表する'梅田スカイビル'において、参加者91名(他に講演会のみの参加者6名)で盛大に行われました。

審議に先立って水嶋理事長、鵜飼学長のご挨拶を頂戴しました。五学科による人材育成、研究力を高めるイノベーション、大学のグローバル化、男女共同参画、六年一貫過程など、これからの母校の姿について、大変興味深いお話しを頂きました。また、昨年はロボット大会、今年は鳥人間コンテストなど現役学生への支援についてのご報告や、この11月21日に予定されている母校のホームカミングデーのご案内も頂きました。

その後審議に移り、平成27年度事業報告と会 計報告、同監査報告及び平成28年度事業計画と 予算計画について審議し、承認されました。

総会会場である'梅田スカイビル'は、世界の 建築トップ20に日本から唯一選ばれた22年前に 建設された超高層ビルです。当時は世界初の連 結高層ビルとして話題になりました。梅田スカ イビルはロンリープラネットやタイムズに紹介 され、近年は外国人の見学者が増えている話題 のスポットとなっています。

総会後の講演会では、この梅田スカイビルの 工事の統括所長を務められましたA38元竹中工 務店常務の吉永深先輩よりお話を伺いました。 この建物の外観を特徴付けている'空中庭園'に ついて、いかにして建設されたのかを当時のエ ピソードも交えながらのお話しは新鮮で、皆さ ん身を乗り出して聞いておられました。

そして講演会の後には、この梅田スカイビルの展望台'空中庭園'の見学会を行い、地上170mの展望台から360度に広がる大阪市内の眺望を存分に楽しんで頂きました。

その後、大阪弥生会館に場所を移して懇親会を行いました。和やかな雰囲気の懇親会は2時間があっという間に過ぎ、最後は全員で「東海

の邦のほまれに」を斉唱し、来年の再開を期し て閉会となりました。

今回の総会は建築学科が担当いたしました。 皆さんのご指導やご協力のおかげで、盛大で楽 しい支部総会・懇親会となりました。この紙面 をお借りしてお礼申し上げます。

記:藤澤繁男(A53)



総会



梅田スカイビル



講演会

(一社)名古屋工業会岐阜支部 平成27年度研修 (T-ラーニング) 報告

(一社)名古屋工業会岐阜支部は、支部活動の 一環として「名建築と美味料理」をテーマに研修 事業を行ってきました。「T-ラーニング」と銘 打って、研修事業に学習機能(技術学習)を付加 しました。

今年度からは幹事がD.G.Wに代わったこともあり、一部研修先の内容を変え、テーマ:『月桂冠大倉記念館研修と長岡京老舗料亭・錦水亭の日本料理』にて研修をいたしましたので、ここに報告いたします。

当日は、午前7時30分にJR多治見駅前を出発、 午前8時30分にJR岐阜駅前を経由し一路長岡京 市に向かいました。参加者は(一社)名古屋工業 会会員と家族の参加で27名、昨年とほぼ同数の 参加者でした。バス車中にて、日本国内の日本 酒の製造状況や日本酒の区分について勉強しま した。日本酒の製造状況については、今年1月 に国税庁発表の「平成25年酒造年度における清 酒の製造状況等について」に基づいて製造場数 や製造数量、更には、特定名称と呼ばれる純米 酒、純米吟醸酒、吟醸酒、本醸造酒の清酒につ いて、その呼称を商品に表示するための原料・

製造方法などの条件を勉強し ました。

午前11時前に錦水亭に到着し、庭園の鑑賞をしました。 長岡天満宮の前池である八条が池に浮かぶ6棟の池座敷と 隣接する放生池にさしかける 2棟の池座敷はいずれも幕末ないし明治初年の建築になる ものとみられており、その歴 史を感じさせる景観であった。本館は大正15年に上棟された建物にて、2階の大広間 は眺望の開ける配置になっており、天井を格天井とし、総体に木割が太く、御殿風の趣をみせながらも、欄間組子は繊細で、豪放さと繊細さを併せもつ造りである。この広間で日本料理をいただき、懇親を深めました。

その後「月桂冠大倉記念館」に移動し、当館の 案内係より、1637年笠置屋として創業以来、現 在までの歴史と酒造工程について懇切に説明を 受けました。1905年(明治38)には勝利と栄光の シンボル「月桂冠」を商標登録し、1927年(昭和2) に月桂冠株式会社が設立された。酒造工程につ いては、明治、大正、昭和期に、酒造り現場に て実際に使われた伝統的な用具類を、工程にし たがって展示されており、酒造用具とあわせて、 江戸期の酒造りを描いた図解を掲げており、各 用具がどのように使われていたかを詳しく教え ていただきました。最後に、館内で三種類のお 酒の試飲をして、午後3時すぎに伏見を出発し、 無事帰路につくことができました。

来年度の研修旅行にも多くの会員に参加いた だけるようにお願いして散会しました。

記: 関尾 光正(D41)



錦水亭での集合写真

平成27年度 香川支部総会開催報告

毎年6月に実施している名古屋工業会香川支部総会は、去る6月14日に支部会員27名が出席し、例年どおり香川を代表する観光名所である栗林公園で開催しました。

総会は、細谷支部長の挨拶に始まり、工業会本部よりお越しいただいた内藤常務理事からは、昨年日本一に輝いたロボコンの今年度の結果や、今年こそフライト出来ることを期待している鳥人間コンテスト挑戦など、学生や工業会の状況についてお話しをいただきました。引き続き浅野代議員による名古屋工業会総会の報告、幹事による平成26年度の香川支部会計報告等が行われました。

総会に続き、出席者の最長老である久保氏の 乾杯のご発声により懇親会へと移り、栗林公園 の庭園を眺めながらの料理と酒に話が弾みまし た。また、恒例の各人からの近況紹介ではそれ ぞれが興味の尽きない話をされ、例年どおりの 盛況ぶりでした。

約3時間の総会・懇親会の終わりは、全員で 「東海のほまれに」を斉唱。記念撮影を行って散 会いたしました。

記:前川(10C)



平成27年6月14日 栗林公園内花園亭

バスケットボール部OB会報告

平成27年6月13日(土)に、名工大体育館にて バスケットボール部OB会が開催されました。 例年どおり、現役から卒業したばかりのOB、 ベテランまで大勢が集まり、ゲームを通じ交流 をはかりました。いつもは若手におされ気味 で、ベテランOBが活躍する機会は稀ですが、 今回は豊田市のママさんチームを招き、そこに 女子マネージャーも加わり、ベテラン〇Bチー ムと対戦しました。國分さん(A37卒)、野嵜さ ん(W37卒)等も出場し大活躍!試合途中で三宅 さん(E60)が足を負傷する大事態もありました が、なんとかチームワークで逆転勝利。夜の懇 親会として、卒業年次が昭和の「名工大BBゴー ルドOB会」が、名駅前の「百楽名古屋店」にて 開かれました。大先輩の後藤さん(Y31)の挨拶 をかわきりに各々の近況紹介を交えながら楽し く懇談が続きました。杯が進むにつれ話は盛り 上がり、気分はまさに現役当時そのものへ。な かには現在もシニア選手として現役でご活躍の 先輩もおみえになり、本会がバスケットをこよ なく愛する仲間の集いであることが再確認でき ました。

今回ご都合のつかなかったゴールド〇Bのみなさま、次回(来年6月予定)へのご参加をお待ちしております。

記:蛭川浩治(E60)



第103回 名工大ごきそ会報告

第103回大会は、平成27年9月25日(金)に会員 14名の参加をえて、名門三好カントリー倶楽部 東コースで開催を致しました。前日より雨が降 り続き、最悪の状態を覚悟しておりました。会 員の方々も欠席される方がかなり出るではない かと危惧をしておりましたが、14名の出席があ り、幹事としても感謝する次第でした。やはり ごきそ会の会員の皆様方は、ゴルフを真に好き の方々の集まりであると納得を致しました。そ してあれだけの雨が降ったにも関わらず、フエ ヤウエイには、水たまりが殆どなく、流石名門 コースであると再確認をいたしました。プレー 後、いつもの通り懇親会を開催しながら表彰 式を行いました。優勝は、第100回記念大会と、 今回で2回目の優勝をされたいつも楽しいゴル フを実行されている森井俊彦様がネット83で獲 得されました。2位は、第85回以来、2回優勝 されている水谷尚美様がネット85で獲得され、 3位は、最近しぶといゴルフを実行されている

山田和男様が前回(3位)と同じく、ネット87で 入賞されました。そして、続けて優勝者の森井 敏彦様より笑いのあるスピーチをいただき、又 水谷尚美様より最近の母校の状況を聞きなが ら、和やかな談笑の時を過ごす事が出来ました。 そして、次回は、11月26日(木)東名古屋CC西 コースにて開催を確認して、散会といたしまし た。

記:常任幹事 柴田 作(A42)



上記の写真は、森井敏彦様の優勝スピーチ

平成27年度 工大祭支援金を授与

名古屋工業大学第53回工大祭に対する名古屋工業会及び名古屋支部からの支援金授与式が10月6日 (火)に名古屋工業会館で行われ、水嶋敏夫理事長ならびに加川純一名古屋支部長から工大祭実行委員長田村怜也さんに授与された。 (事務局)



平成27年度名古屋工業大学基金寄付者(平成27年4月~平成27年9月)

※数字は卒業年

【個人】	青木	猛	Es42	青山	春彦	E25	秋山	秀雄	Es43	芦崎	重也	E34(2回)
	安藤	文夫	E31	飯田	秀郎	W33	飯田	雅	K46	石田	壽	A49
	石村	孝	C53	泉	典治	D22	泉舘	昭則 [E25(6回)	伊藤	博英	E20
	糸賀	輝穂	A51	稲垣	英彦	M20(3回)	犬塚	信博	J62	岩國	頴二	B41
	上田	智	K59	上埜	靖	M38	鵜飼	裕之	F52	宇佐美		Es42
	牛込	進	Y33	氏原	義文	W35	梅津	寛	E39	梅野	正義	E35
	浦野	三男	A20	浦野	了	M20	大江	準三	Es54	大谷訓	成一郎	ZW3
	大野	郁男	Es53	大光	敬史	M49	小野	徹郎	A43	片岡	甫	M31
	加藤	勝英	E39	加藤	久美	M43	加藤	作次	C40	加藤	陽一	K34
	神鳥	彰徳	D44	神本	勝巳	E41	川口	慎吾	M24	川越	英二	E47
	河路	弘臣	® 22	川松	康吉	K45	北川	啓介	SA®	木原	清	E44
	木村	準	Es53	木村	敏樹	D(1)	木村	正広	ZK⑦	木村	優子	AD23
	久保村	徳太郎	E37	倉知喜	喜久雄	E52	是木	修一	E38	近藤	正一	SA3
	近藤	政之	B43	酒井	貢	A59	佐藤	克美	M23	佐藤	信吾	K38
	佐藤	弘	D36	城之区		C41	杉浦		W34(2回)	杉浦	伸明	E50
	杉村	修一	A35	鈴木	直樹	Y51	鈴木	宏昌	D34	鈴木	倭	E34
	高橋	等	E33	武布	道一	M20	多田	良之	E14	田中	秀佳	M51
	谷垣	正彰	A54	田村		E39(3回)	都築	登	E29	角田		F60
	中島	章博	ZY (1)	中島	茂生	W37	長島	徹	W40	永田	光康	A21
	中野	智文	I ①	中村		M50(2回)	中村	卓次	C29	中村	秀樹	C51
	西田	修造	F49	野田	昭	E37		に真夫	C33	蜂須賀		W36
	馬場	利昭	M43	林	武雄	M30	春田	直明	A33	蛭田	道夫	M49
	藤原	利久	M42	古田	人	M23	古田	寛	K30	牧	直樹	E38
	槙山		M40(2回)	松森	博巳	D29	丸山	貴司	M59	水野	泰平	M36
	光行	恵水	C31	宮脇	誠	Es52	三輪絲		E32	村中	克弥	B41
	本川	拓雄	II M48	本倉	俊男	C48	森川	民雄	W45	山上	俊二	C41
	山下	正行	B49	山田	和男	E47	山田	史郎	SC2	山田	義郎	A20
	山本	茂	W17	山本	俊伸	E39	幸村	隆夫	M24	吉岡	泰輔	D31
	吉野	勝也	F55	吉野	毅	E26	吉村	洋典	E42	吉村	靖	D30
	分部	力	E23	渡邉	敏文	F52	渡邉	仁司	M29			

【団体】 名工会(ヨット部OB会)

昭和39年卒 名工大Ⅱ部機械工学科

【上記以外に掲載希望しない方40名】

名古屋工業大学基金への寄付は、母校の発展に寄与するものです。同窓会や同期会、各種の会合等の機会を 通じてご協力いただきます様お願い致します。

基金に関するお問い合わせは、名古屋工業大学基金ホームページhttp://www.nitech.ac.jp/kikin/index.html または電話052-735-5004渡までお願い致します。

名古屋工業会のHP 会員限定ページについて

会員限定ページをご覧いただく際にはパスワード入力が必要となります。

【パスワード: gokiso5298】

今後とも、よりわかりやすい情報をタイムリーに発信してまいりますので、何卒宜しくお願い申しあげます。

「安土城再建を夢見る会の夕べ」

皆さんと安土城からみえる信長の野望とロマンを語りあいましょう!

と き 平成27年12月13日(日)19:00~20:40 (入場無料)

ところ 安土 文芸セミナリオ

JR 琵琶湖線安土駅下車・徒歩25分 滋賀県近江八幡市安土町桑実寺777番地 TEL.0748-46-6507

<プログラム>

18:20~18:40 ロビーでクラシック演奏

19:00~20:15 名古屋工業大学 麓 和善教授による講演会&座談会

テーマ: 「安土城からみえる信長の野望とロマンを語る」



天下統一を前に信長はどんな目的で安土城を建てたのか?信長が過去に建てた城と安土城の遺構や文献から語っていただきます。当時、欧州では「信長の楽園」と呼ばれていた安土城。天下布武を標榜し、天下統一のために安土城に多くのサプライズを盛り込んで、「信長は天下を取るにふさわしい人物だ」ということを民衆の心に植え付けたことが伺える。湖面に浮かぶ幽玄の城、天を目指すまっすぐな大手道、宝塔、吹抜け、高い石垣&八角形の上層部、舞台(カケヅクリ)、総見寺の建立。そして最後は「盂蘭盆会(うらぼんえ)」で人々の魂を感動で包み込んだことでしょう。信長は戦乱の世を平定し、平和への足がかりをつくった政治、経済、文化・芸術における稀代の天才であり、日本に新しい価値観や仕組みを導入し、日本を変革した人物です。その足跡から多くのことを学んでいきましょう。

20:15~20:35 ムラタクラシック同好会演奏

(最後に信長追悼と今後の活動の成功を祈念して、皆さんで"琵琶湖周航の歌"を歌います)

20:35~20:40 本会代表からのお願い

<麓 和善 氏の紹介>

名古屋工業大学 建築・デザイン工学科 教授

内藤昌教授の愛弟子で安土城研究者、本会代表の尾崎とは名古屋工業大学の同窓生。彦根城、松本城、 犬山城を世界遺産にする活動や名古屋城本丸御殿の再建を支援しており「**安土城再建を夢見る会**」の 理事でもある。

<「安土城再建を夢見る会」の代表兼「地域情熱ネットワーク」理事 尾崎信一郎の紹介>

(株)村田製作所のエンジニア。近江八幡市に30年住んでおり名古屋城三大家老の一人である西岡忠左衛門の末裔で、本流の方(西岡寿一氏)は名古屋城(信長生誕の地)近くの屋敷跡で幼稚園を経営しており名古屋城本丸御殿再建にいの一番に寄付されました。私も安土城を是非再建し名古屋城(那古野城)、小牧城、岐阜城も合わせて「信長の城の軌跡をもとに平和に向けた国づくりの視点」で世界遺産登録も目指します。当時フロイスが世界で最も豪華な城と言わしめた安土城を水郷めぐりで満喫できれば至上の喜びとなるでしょう。近江八幡市からも後援をいただいており、地方創生の起爆剤になればと思っています。本会の活動を通じて、皆さんとともに平和と歴史と文化の大切さを学び、後世に伝えていきましょう!



ものづくり、ひとづくり、未来づくり

名古屋業大学

創立110周年を迎え、 11月21日(土) 第1回ホームカミングデーを開催します。 第53回 工大祭も11月21 ~ 22日に!

今年、名古屋工業大学は創立110周年を迎えました。これまでの感謝の気持ちと、これからの未来に向けて、全学同窓会 一般社団法人名古屋工業会と共催で11月21日(土)に第1回ホームカミングデーを開催致します。

イベントとして、学内見学ツアーでは世界に数台しかない実験装置や研究機器が設置されている大型設備基盤センター、学外の方にも積極的にご利用頂きたい附属図書館、本学110年の歴史や本学関係者の数々の業績が保存・展示されている校友会館をご案内するほか、17の研究室が一般公開されます。また、高井一 東海テレビアナウンサー (名古屋工業大学特任教授)の記念講演も予定されています。

生協では、昔懐かしのメニューとして、「1960年代の定食」や「1990年代のジャンボカレーやパスタ」が 提供され、20年分の入学・卒業アルバムも展示され閲覧可能となっております。

今回は学園祭「工大祭」と同時開催であるため、ロボコン工房、ソーラーカー部、人力飛行機研究会 NIEWs、鉄道研究会や管弦楽団など学生の課外活動の様子もお楽しみ頂けます。

名古屋工業大学の卒業生とそのご家族はもちろん、「大学の研究室ってどんなところか見てみたい」、「名古屋工業大学を受験したい」「高井一さんの講演を聞いてみたい」「昔の学食メニューを食べてみたい」など、一般の方々のご来場も心よりお待ちしております。

<u>プログラム:</u>

学内見学ツアー/10:00、11:00、12:00の出発です(定員は各30名)

生協食堂にて復刻メニュー/11:30~13:00

歓迎式典および記念講演会/13:00~14:30 (定員は200名)

研究室見学/10:00~17:00



記念講演 高井一 東海テレビアナウンサー 名古屋工業大学特任教授

本件へのお問い合わせ:

国立大学法人名古屋工業大学 広報室 TEL: 052-735-5647

E-mail: pr@adm.nitech.ac.jp

第1回 ホームカミングデー共催企画のお知らせ

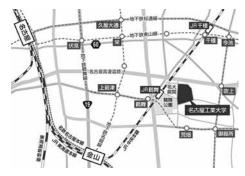
名古屋工業会では、ホームカミングデーで利用できる無料クーポン券を用意しました。

ホームカミングデー当日に開催されている第53回工大祭で出店されている模擬店で使用できる1.000円分のクーポン券を先着200人の会員の皆様に用意しました。

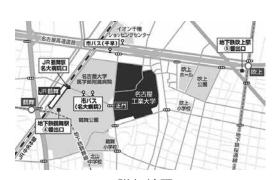
希望される会員の皆様は、名古屋工業大学正門付近に設置されます名古屋工業会受付(11時から15時まで)において、**会員証を提示いただき本人確認の後、お配りします**。

この無料クーポン券は、鶴舞公園及び大学構内で名工大の学生が出店されている模擬店で名古 屋工業会のロゴを表示してある店舗で利用できます。

配布はお一人一枚ですが、ご同伴の方と利用できますので、是非ともご参加頂きますようお願いいたします。



広域地図



詳細地図



投稿のお願い

名古屋工業会 広報委員会

【原稿のジャンル】

- ◆ 交流コーナー(4頁以内):ご自身のお仕事上の経験などを紹介
- ◆ 学生コーナー(2頁以内):名工大生の様々な活動を紹介
- ◆ 研究紹介(4頁以内):オリジナリティと学術的有用性のある研究論文
- ◆ 講座(4頁以内):最新技術情報など一般読者に役立つ内容
- ◆ 随 筆 (3 頁以内):見聞・体験・感想・在学時代の思い出など
- ◆ 紀 行 (3 頁以内):海外出張・留学・旅行など
- ◆ 情報ネットワーク (0.5 頁以内): 支部報告・会員ニュース・お知らせなど
- ◆ 他に俳句・詩などの文芸、会員の著書・展覧会などの寸評、その他のご自由な意見など(1頁以内)

これら以外に広報委員会が設定する特集・連載記事を募集または依頼します。

【投稿規定】

- (1) 原稿の種類 掲載希望ジャンルを上記から選択してください。
- (2) **原稿の長さ** 1 頁あたり「文章 1,000 文字+写真・図・表 2 点」が目安です。規定の頁数に収まるように作成ください。
- (3) 原稿の作成と入稿
 - ・ 原則として当用漢字と現代かなづかいの口語体を基調とします。
 - ・ 刷り上りは A4 版 2 段組です。標準の文字数は 1 段が「21 文字×38 行=798 文字」で、1 頁につき「21 文字×38 行×2 段=1,596 文字」です。
 - 手書き原稿でも結構ですが、なるべくワープロソフトを使用し、図表を含め仕上が り紙面に近い書式で原稿を作成ください。
 - 写真および図版はお送りいただいたものをそのまま使用します。写真等の提出はデジタル画像を歓迎します。写真や図版ごとにキャプション(短い説明)と通し番号を明記してください。
 - ・ 電子メールでの提出 (MS-Word あるいはテキスト形式のファイル)を歓迎します。
- (4) **原稿の採否および掲載時期** 原稿は、原則として未発表のものに限ります。原稿の採否 および掲載時期は広報委員会にて決定します。原稿の短縮や、表現・内容の修正等をお願い することがあります。
- (5) 著者校正 通常の場合、初校の著者校正をお願いします。
- (6) 原稿表紙 電子メールの本文、あるいは原稿表紙には次の情報を記載ください。
 - 著者名と所属
 - ・ 本学出身者の場合は卒業した学科(あるいは専攻)、卒業年度
 - ・ 原稿の種類(掲載希望ジャンル)
 - 原稿の題目
 - ・ 顔写真の有無(有りの場合はプリントまたは電子ファイルを添付)
 - ・ 連絡先 (郵便番号と住所、電話・FAX・電子メールなど)

【原稿送付先】

原稿送付および投稿に関するお問い合わせは下記宛にお願いします。

〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町 4 社団法人名古屋工業会内広報委員会

Tel: 052-731-0780 Fax: 052-732-5298 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp

【表紙写真の提供のお願い】

「ごきそ」の表紙を飾る写真(縦長版)についても投稿をお待ちします!

東京支部「第56回 東京ごきそサロン」開催のご案内

開催日時:平成27年12月2日(水)18時00分~20時00分

開催場所:八重洲倶楽部(東京駅八重洲口地下) 電話:03-3275-0801

テーマ: 「広い」・「長い」・「高い」 空間について

講 師:神谷 省次(かみや しょうじ)氏(A53卒、修士55修了)

(株)巴コーポレーション 副社長執行役員

1978年名古屋工業大学建築学科卒、1980年名古屋工業大学大学院工学研究科建築学専攻修了。同年(株)巴組鐵工所(現 (株)巴コーポレーション)入社、建設工事部、建設設計部、建設企画部、建設営業部に所属、校舎、マンション、工場、倉庫、スポーツ施設等の設計監理・営業に従事。2005年取締役常務執行役員、2009年取締役専務執行役員、2014年取締役副社長執行役員を経て、現職。

講演概要:(株)巴コーポレーションは総合建設はもとより、鉄塔、橋梁、鉄骨等幅広い分野を事業領域とする中堅ゼネコンである。今回は同社の副社長である神谷氏に同社の経営理念・事業内容をお話しいただきます。多くの施工実績のうち、同社が開発した立体構造「ダイヤモンドトラス」をはじめとする大梁間構造とその施工実績、同社が携わった東京スカイツリーの鉄骨製作、その他、新橋駅駅舎屋根、送電線鉄塔、工場、物流、文教施設等、その概要を紹介していただきます。

会 費:名古屋工業会会員:1,000円、非会員:1,500円(全員に食事が付きます)

申 込 先:食事の準備の都合上、11月25日(水)までに下記の各科常任幹事宛、電話、FAX又はe-mailでお申し込み下さい。各科常任幹事は出席者名簿を11月28日(土)までに鈴木まで E-mail(spyn5cf9@canvas.ocn.ne.jp)によりご連絡下さい。

C: 橿尾恒次 Tel: 03-5833-7722

Fax: 03-5833-7740

e-mail: k kashio@koutsuservice.jp

A:石田交広 Tel: 03-3533-6081

Fax: 03-3533-9407

e-mail: t_ishida@tomoe-corporation.co.jp

M:松浦明人 Tel:080-3560-1430

e-mail: matsuura.akito@showa-aircraft.co.jp

E:三浦太朗 Tel/Fax: 050-1580-3039

e-mail: t.miura.322@nitech.jp

D:鈴木満雄 Tel/Fax: 03-3713-8214 e-mail: spyn5cf9@canvas.ocn.ne.jp W: 印藤 嶠 Tel/Fax: 047-492-1384 e-mail: t-nikkall117@cg7.so-net.ne.jp

Y:日沖 昭 Tel/Fax: 045-911-3340 e-mail: hioki3@y6.dion.ne.jp

K:細谷佳弘 Tel/Fax:03-5721-0367 e-mail: y-hosoya@oo.em-net.ne.jp

F: 小川一郎 Tel/Fax: 049-264-0767 e-mail: i-ogawa@mtj.biglobe.ne.jp

B:佐藤 弘 Tel: 045-825-3734 e-mail: sato-sato@c3-net.ne.jp

特許業務法人 英知国際特許事務所 EICHI Patent & Trademark Corp. 所長弁理士 岩 﨑 孝 治

- 知財の総合コンサルタント -

【東京本部】〒112-0011東京都文京区千石4-45-13

TEL: 03-3946-0531(代)

【虎ノ門サテライト】 TEL: 03-6206-6479 【仙台支部】 TEL: 022-266-5580 【山形支部】 TEL: 023-651-6102 【神奈川支部】 TEL: 045-532-3827 【浜松支部】 TEL: 080-2077-6544 【大阪支部】 TEL: 072-201-1593

URL: http://www.eichi-patent.jp

(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚 | を応援します。

37年の実績 (一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに 簡単にアクセスできます。 (一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってくだされば

登録料 50 % OFF

ブライダルコース ¥226,800▶¥210,600 etc. エクセレントコース ¥388,800▶¥372,600 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です

- ●成婚率は業界トップクラス。
- ●入会審査有り。 ●都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。 ●お客檪満足度NO.1のお世話を目指し少子化

🔖 _{株式会社} ブライダル ^{お問い合わせ} 🔀 0120-415-412 http://www.bridal-vip.co.jp 名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

広報委員会

委 員 長 森川 民雄(W45)

康 (SC③) 上原 匠 (C60) 山盛 浅野 啓介 (A®) 健 (SU(6)) 北川 藤井 郁也 (Mb3) 安楽 崇宏 (M®) 岸 光利 (E50) 直希 (EM(12)) 廣瀬 杉本 英樹 (ZW6)) 吉木 満 (W56) 岩田 修一 (D①) 髙取 奨 (D6) 本多 沢雄 (ZY6) 道家 清正 (Y30) 義彦(K50) 米谷 昭彦 (F60) 宮地 横山 淳一 (Fb⑥) 守田 賢一 (F47) 澤村 泰政

ブラザーロジテック

ブラザーロジテック株式会社は ブラザー工業株式会社の子会社です。

安心・親切・丁寧に対応いたします。

引っ越し

事務所移転

安心・安全・確実に責任を持って お手伝いさせて頂きます。

1.経験豊富なスタッフ多数 2.ブラザーグループ内での事務所 移転は全て行っています。



安心してお任せください。

まずはご連絡ください。

TEL 052-824-2310 (引越担当

車検·点検·整備

法定点検・車両故障も お任せください。

車検

オイル 交換

販売



マイカー・社用車・トラック・フォークリフト各種取り扱い (中部連輸局指定整備工場名指

まずは、お電話でご予約ください。 0120-06-2377

ブラザーロジテック株式会社 取締役 総務部長 吉田 信人(M57)

〒457-0842 愛知県名古屋市南区戸部下1丁目4-20 http://www.brother-logitec.co.jp/

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

メカから電気・電子、半導体まで 開発設計、品質、生産技術、生産まで

技術系全25講座一材料、加工、設計、電気・電子、 組込コンピュータ、各種要素技術・・・

品質系全30講座一DRBFM、なぜなぜ分析など 各種未然防止手法

マネシ・メント系全10講座一経営品質、もしドラリーダシップ、 プロジェ外管理…

Worldtech

株式会社ワールドテック

代表取締役 寺倉修(F50)

名古屋市中区錦2-15-22りそな名古屋ビル7F 〒458-0901

TEL: 052-219-6025

FAX:052-219-6026 E-mail:solution@worldtech.co.jp

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで トータルサポートでお値打ち!!

子組版時代から築き上げら くウはDTPにおいて、特に れる縦組みの書籍・表組み

いたします。 Macintoshのみならず、ワード・一太 郎等の通常オフセット印刷に適さな いWindowsデータの出力ノウハウも

ンルは・宣伝物等、製本で と・法人の方、少ロットよ っます。



